

# 会長就任ご挨拶



令和6年6月吉日

公益社団法人 北海道臨床工学技士会

会長 布施 崇宏

会員の皆様におかれましては時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より公益社団法人北海道臨床工学技士会の活動にご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。この度、令和6年6月2日（日）に行われました令和6年度公益社団法人北海道臨床工学技士会総会において内部理事10名、外部理事5名が承認されました。総会後の理事会にて大宮前会長の後を引き継ぎ、第8期会長を拝命しました北海道泌尿器科記念病院の布施崇宏と申します。どうぞよろしく願いいたします。北海道臨床工学技士会は歴代の会長をはじめ数々の役員の皆様のご尽力により、今日に至っております事を厚く敬意と感謝の意を申し上げます。

近年、医療を取り巻く環境は大きく変化しており、医療DXや、医師の働き方改革によるタスクシフト、医療安全の強化など臨床工学技士に求められる役割はますます重要になっています。このような状況を踏まえ、私は以下の項目を重点項目として取り組んでまいります。まず1つ目として組織基盤のさらなる強化を目指します。現在、北海道臨床工学技士会は会員数約1500名を抱える全国指折りの組織であります。この大所帯を運営するにあたり4年前に支部制が導入されました。支部制導入直後にCovid19が流行し活動が制限されている期間がありましたが、リモートサービスの活用など創意工夫により現在は感染症流行前より活動が活発であると言っても過言ではないかと思えます。このような気運が高まっているところで、会員の皆様の声をさらに道臨工の運営に直結させるために代議員制を導入したいと考えております。代議員制の導入により会員の皆様からの声をより一層聞き取ることで木目の細かい運営を目指します。そして、2つ目として人材育成の強化を掲げます。タスクシフトシェアにより臨床工学技士の業務範囲は益々広がり、医療DXやサイバーセキュリティーなど臨床工学技士に求められる役割もますます増加することが予測されます。そのような要請に対しスピーディーに対応できるよう会員の皆様の人材育成を目指した活動を心がけて運営をおこなってまいります。人材育成は医療現場だけではなく当会の運営に関しましても次世代を担う人材の育成が急務となっております。10年後、20年後の北海道臨床工学技士会を担う人材を発掘し共に活動し育成を行ってまいります。

最後になりますが、当会の目的であります道民の医療、福祉の進歩充実に寄与することを改めて理事一同肝に銘じ邁進していく所存です。今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。